

第七 昭和十六年冬

一、重慶ハ既ニ其ノ損害補充ヲ終リ總兵力三百万

三百二十箇師ヲ擁シアルモ兵ノ素質單、裝備

共ニ劣悪ニシテ綜合戦力ハ大ナラズ。

帝國ノ対米英戦開始ヲ以テ対日反抗ノ好機ナ

リトシ蔣共兩軍ヲ以テ總反攻ヲ呼号シ来ルベ

キモ現下ノ実力ヨリシテ宣傳及遊撃戦ヲ強化

スルニ止マリ独力ヲ以テ大規模且組織的反抗

ヲ実施スルコト能ハサルベク帝國軍主力南方

ニ轉戦スルト雖モ我南方連絡ヲ遮断スル算ナ

ナル脅威ヲ得ガレハレ但レ支那奥地ヲ系英  
空軍基地トシテ提供スルコトアルハ予期スル  
ヲ要ス。

二重慶ハ物資ノ欠乏甚シク物價指數ハ依然トシ  
テ急騰シ經濟混亂、徴丁ヲシモアラズ加之  
中共黨軍ノ勢力ハ急増シ國共相剋ハ愈々激化  
シアリテ抗戰前途ニ幾多ノ苦難ヲ抱藏シアル  
ハ事實ナリ。然レ共蔣介石ノ統帥力ハ依然強  
大ニシテ國共兩黨子相鮮盛亦之抗日意識ハ克  
ク國民ヲ駆リテ抗日ニ邁進セシメアリ國共兩  
者ノ相剋モ亦之ニヨリ共同目標タル抗日抗戰

0377

然長期持久ヲ目シ第三國特ニ米ノ援助ヲ胸算  
ニ國際情勢ノ好轉ヲ待望スル他力本頼的抗戰  
ヲ繼續スバン。從ツテ支那事變ハ既ニ單獨解  
決ノ機ヲ失シタルモノト判断セラル。

三、在支米英等敵側勢力ノ授滅香港新嘉坡其ノ他  
南方諸地域ノ失陷ハ授蔣基地ノ完全覆滅ヲ表  
シ南洋華僑ノ援助断絶スバク重慶ノ經濟的苦  
痛ハ更ニ加重セララルベキモ之ニヨリ重慶ノ大

勢ヲ決スルガ如キト無カルベシ。

四、國民政府樹立後該改權ノ強化ハ見ルベキモノ  
無ク其ノ實勢力ハ我輩力圖外ニ一歩ヲ出ゾル  
能ハザルノミナラズ寧ロ我ニ對スル要請ノミ  
ニ奔リマリ、政府要人亦建口革新ノ氣力ナリ自  
己保存ニ專念シ施政全ク挙ラザルノミナラズ  
弊害漸次露骨トナリ國民感情亦惡化シツ、ア  
リ斯クテ帝國ノ國民政府育成強化ニヨル事變  
解決ノ方針亦少クシモ前途樂觀ヲ許サザルモ  
、アルベシ。